



発売 10 周年「極撰バナナ」の美味しさの秘密を美しい映像で訴求！ ドール初のフィリピン農園空撮を取り入れた新 CM を公開

Dole 極撰バナナ CM「生産者」篇

2019年4月5日(金)から関東、関西含む全10エリアで順次オンエア開始

株式会社ドール(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 渡辺 陽介、以下 ドール)は、Dole (ドール)「極撰バナナ」の、新 TV-CM「生産者」篇を、2019年4月5日(金)から関東、関西含む全10エリアでオンエア開始いたします。また、本 CM は 4K 放送対応で制作しておりますので、美しい「極撰バナナ農園」の姿を、弊社ホームページのほか、全国の家電量販店の 4K テレビコーナーでもご覧いただけます。



「極撰バナナ農園」
作業員
レナンテさん

「極撰バナナ」は、ドールが研究・開発した 100 種類以上の中から日本人の味覚に合うよう選び抜かれた甘み、香り、食感、すべてが高品質なバナナです。今年で発売より 10 周年を迎え、販売数量は 12 億本を超えました。

そこで本 CM では、フィリピンのミンダナオ島にある標高 500m の広大なドールのバナナ農園にスポットをあて、ここで育成される「極撰バナナ」の美味しさの秘密について紹介します。



CM は、朝霧、こぼれる陽ざし、鳥のさえずりからはじまります。農園の朝は 5 時と早く、バナナ栽培はすべて手作業です。CM に出演したレナンテさんは、実際に農園で働く熟練した作業員で、育苗施設で育った苗を、1 株ずつ植え付け、間引き、剪定、さらに擦り傷を防ぐためにひと房ごとに緩衝材を入れています。また、害虫や鳥たちによる被害から守る袋がけなど、様々な手入れを丁寧にこなしています。200 本のバナナがつく大房(ステム)が育つまで約 1 年間、株分けから収穫まで振り返るとじつに約 2 年の月日がここ「極撰バナナ農園」で流れていきます。

「極撰バナナ農園」のある高地は昼夜の寒暖差が大きく、夜の気温が急激に下がるため、収穫まで長い期間を必要とします。そのため、高地栽培バナナは、糖分に変換されるデンプン質が増え、もっちり濃い甘さのバナナに生育するのです。

「極撰バナナ」の美味しさの秘密はまさにこの「極撰バナナ農園」にあります。今回、ドールでは 4K 放送対応に加え、初めてドローンによる空中撮影も実施し、映像、音質にも徹底的にこだわりました。「極撰バナナ農園」を描いた CM をぜひお楽しみ下さい。

ドールでは、「極撰バナナ」をご愛顧いただいていることに改めて感謝を申し上げますとともに、これからも「極撰バナナ」の美味しさをお届けしてまいります。

■新 TV-CM ドール極撰バナナ「生産者」篇 15秒 ストーリーボード

CUT	SCENE	AUDIO	CUT	SCENE	AUDIO
1		ロゴ：DOLEロゴ ↓	8		
2			9		NA：美味しさを届けて10年
3		super：こつこつ	10		NA：ちょっと高いが、 かなり美味しい。 super：ちょっと高いが、 かなり美味しい。 NA：ドール極撰
4		super：じっくり			
5		super：丁寧に			
6		super：丁寧に			
7		super：一年以上かけて			

■CM 概要

タイトル :Dole 新 TV-CM 極撰バナナ「生産者」篇

撮影時期 :2019 年 1 月

撮影場所 :フィリピン ミンダナオ島

放映開始日:2019 年 4 月 5 日(金)~21 日(日)

放送地域 :関東、関西、愛知、福岡、北海道、宮城、山形、岩手、静岡、山梨

※2019 年 4 月 6 日から 1 ヶ月間

家電量販店 TV 売り場、ビックカメラ全国 21 店舗、ヤマダ電機 主要都市 100 店舗)の
4K テレビコーナーにて適時放映

■制作スタッフ

クリエイティブディレクター 藤井 智(株式会社 電通イースリー)

マネージングディレクター 三枝 久(株式会社 電通イースリー)

プロデューサー 木原清太郎(株式会社 パラゴン)

プロダクションマネージャー 相岡健人(株式会社 パラゴン)

ディレクター 村山和也(フリーランス)

カメラマン 柏崎佑介(フリーランス)

アシスタントカメラマン 濱口雅弘(フリーランス)

コーディネーター 江島涼司郎(フィリピン現地撮影コーディネーター)

参考

品種の選定

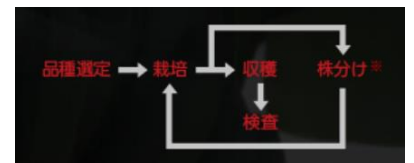
世界には、日本に多く流通しているキャベンディッシュ種や、フィリピンで食べられているラカタン種、モンキーバナナの通称でおなじみのセニョリータ種など、様々な品種が存在します。それらのバナナを、糖度・香り・サイズ・栄養成分・収穫効率等を基準に選定を行っています。その数なんと100種以上。毎日様々なバナナに囲まれながら、よりおいしいバナナをお届けするために研究しています。

栽培地の選定

バナナは、単子葉類ショウガ目バショウ科バショウ属の多年草です。標高500m以上の高地で栽培すると、夜の気温が急激に下がるため、温暖な低地と比較してじっくりと成長します。その為、低地栽培品が10ヶ月で収穫できるのに対し、高地栽培品は1年以上とより長い期間が必要となります。しかしながら、昼夜の寒暖差が大きい高地で栽培すると糖分に変換されるデンプン質が増え、甘いバナナに生育します。極撰バナナは正にこの高地栽培バナナ。甘さがたくさん詰まっています。

テスト栽培

そのバナナが販売するにふさわしいかを確認するため、テスト栽培を実施。当時販売していた他品種と条件を合わせ、同じ園地で並べて栽培。それを繰り返し行い、開発されたバナナが極撰バナナです。



※バナナはある程度成長すると、幹の横から新しい芽（株）が生えてきます。この芽を切り分け、植えることで次の世代のバナナが成長します。